2014 年 9 月 19 日

報道関係各位

会 社 名　株式会社 アドバンテッジ リスク マネジメント
代表者名　代表取締役社長　鳥越　慎二
（JASDAQ　コード 8769）

2015 年 3 月卒業予定者の採用適性を調査
ストレス耐性・コンピテンシー、「女性のほうが大幅に高い」
採用適性検査受検者の【ストレス耐性】【コンピテンシー】【EQ】について調査・分析

株式会社アドバンテッジ リスク マネジメントは、2014 年 1 月～3 月、2015 年 3 月卒業予定の 20 歳～24 歳の人を対象に、採用適性として「ストレス耐性」「コンピテンシー※」「ＥＱ※」を測りました。その結果を分析したところ、男性と比べ女性のほうが「ストレス耐性」と「コンピテンシー」が大幅に高いことが明らかになりました。

※EQ…(Emotional intelligence Quotient) こころの知能指数。場に応じて感情をコントロールできる「対人能力」と言える。
※コンピテンシー…高いレベルの業務成果を生みだす、特徴的な行動特性。成果につながる行動特性。

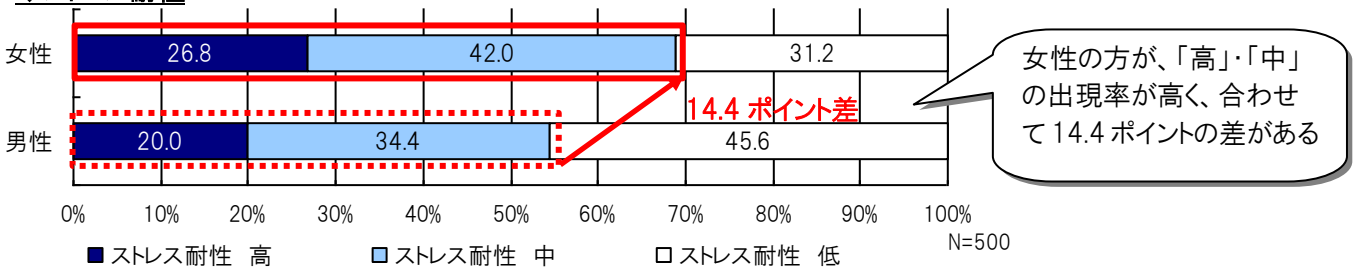
＜主な分析結果＞　※詳細は 2 頁目の見解をご覧ください

① 男性に比べ、女性のほうが「ストレス耐性」「コンピテンシー」が大幅に高い
② 「ＥＱ能力」には男女でほとんど差が見られない
③ 女性は新卒時は「ストレス耐性」「コンピテンシー」が高いが、入社後にストレスを抱えてしまう傾向にある。

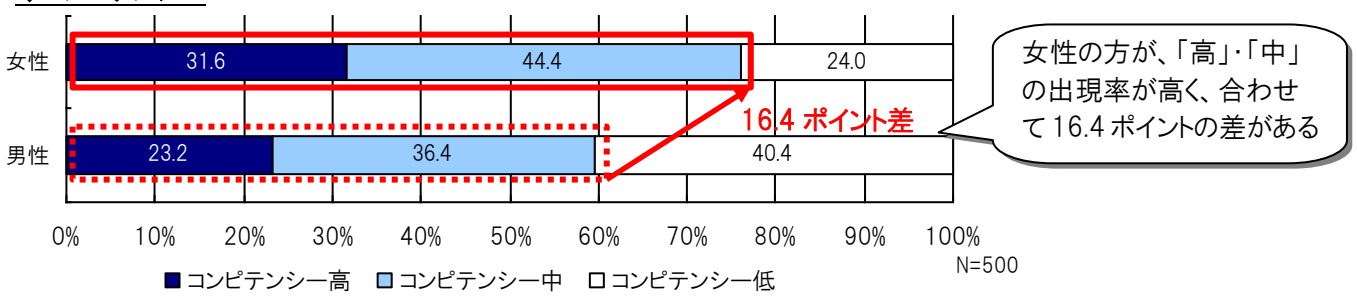
【採用適性検査結果調査 －2015 年卒業予定者 20～24 歳 男女比較】

当社が提供する採用適性検査「アドバンテッジ インサイト」によって算出されたスコアを基に分析。偏差値を用いており、その高・中・低の割合を比較したもの。

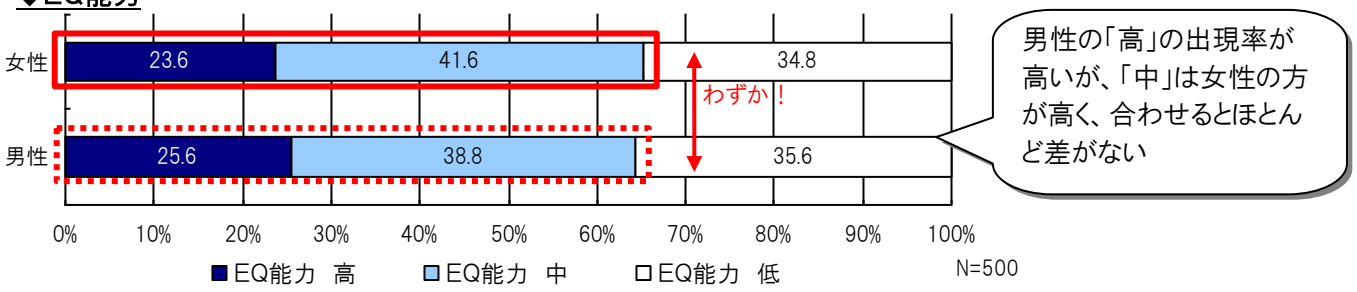
◆ストレス耐性



◆コンピテンシー

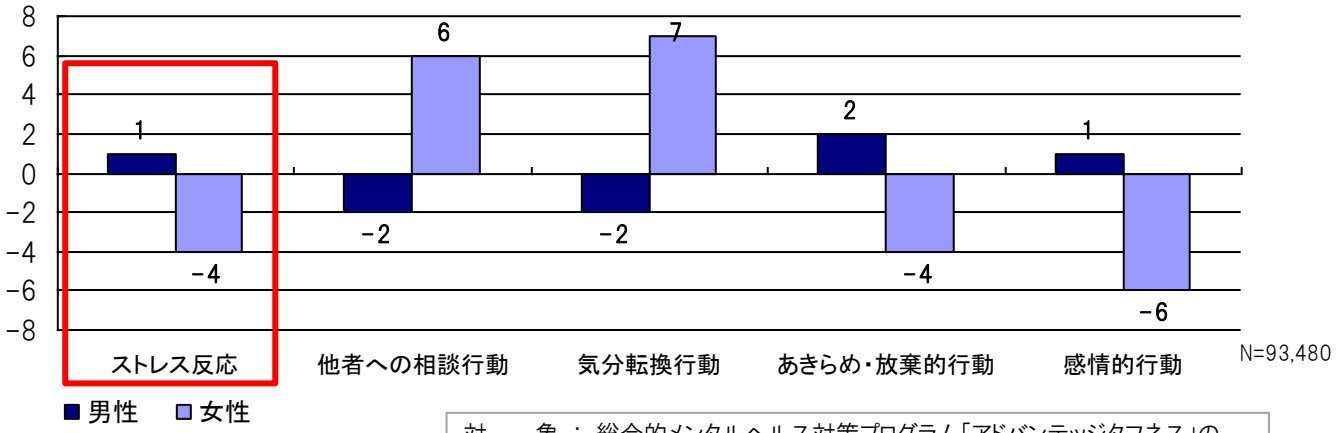


◆EQ能力



【参照：従業員向けストレスチェック利用者のデータ分析】

当社が 2013 年の 1 年間で 93,480 人に実施したストレスチェックのデータによると、女性のほうが、ストレスを抱えていることが明らかになっている。女性の方が「他者への相談行動」「気分転換行動」は高いが、「あきらめ･放棄的行動」「感情的行動」をとりやすい傾向にある。（男女別平均値からの差）



対　　象 ： 総合的メンタルヘルス対策プログラム「アドバンテッジタフネス」のストレスチェックを利用している団体･企業の従業員
調査方法 ： インターネット、用紙を通じた自記式調査票によるストレスチェック
集計期間 ： 2013 年 1 月～12 月

＜調査総括・見解＞

- 女性の方が「コンピテンシー」が高いため自己の強みや積極的に行動できる特性を自己認知していると考えられ、結果、採用面接時において、自身の特徴を伝えることが長けていると思われる。ゆえに、**面接時に評価の高い学生は女性の方が多い可能性がある。**

- 「EQ 能力」には性差がほとんど見られないため、本来持っている感情を上手く使っていく能力は男女変わらないと考えられる。**性差によらず個々の能力を見極めた人材活用が望まれる。**

- 新卒採用時は女性の方が「ストレス耐性」が高い結果となっていたが、一方で**女性は入社後にストレスを抱えていく傾向にある。**ストレスチェックの結果でも、「他者への相談」「気分転換のための行動」は女性の方が高いが、「あきらめ行動」「感情的行動」は女性の方が低い。女性はもともとストレス耐性が高く、上手く気分転換する傾向にあったとしても、**育児対応や職場復帰後の時短労働など、入社後に環境が変化する要因も多く、非常に大きなストレスの原因になりやすいと考えられる。入社時の高いポテンシャルを維持できるような対策が必要になってくる。**

【アドバンテッジインサイトとは】

当社が提供する採用適性検査。ストレス耐性とＥＱ能力を測り、環境変化や人に強い人材を見つけることが出来る。下記検査項目により、スコアを算出。分析結果を「結果報告書」としてレポートしている。

＜調査項目＞

検査項目	カテゴリー	内容	設問数	検査時間
A	知能能力	言語・論理	18 問	
B		数理・推論	15 問	
C	ＥＱ	ＥＱ能力	60 問	
D		コンピテンシー	99 問	
E	ストレス	潜在的なストレス耐性／現在のストレス状態	77 問	
		合計	269 問	75 分

【スコアについて】

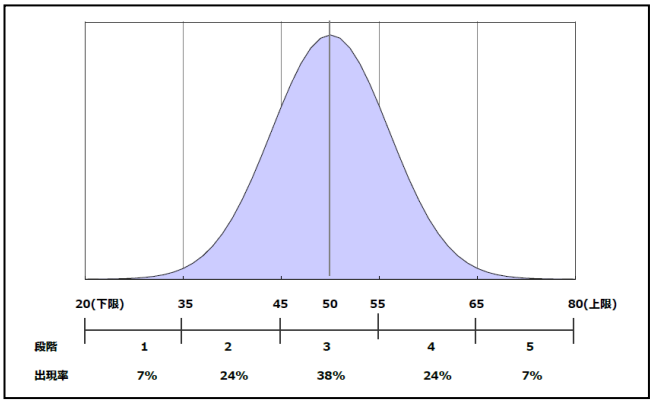
当社が提供する採用適性検査「アドバンテッジインサイト」によって算出されたスコアを基に分析。高低の振り分けについては以下の通り。

＜高･中･低の 5 段階振り分けとスコアの対応＞

高	4:55.0～65.0 未満　5:65.0 以上
中	3:45.0～55.0 未満
低	1:35.0 未満　2:35.0～45.0 未満

＜統計上の高低の出現率＞

	高	中	低
割合	31%	38%	31%



スコアとは、偏差値を利用しており、基準となる母集団の平均を 50 として、平均からどれくらい離れているかを表した数。標本は正規分布し、各スコア範囲の出現率は上記となる。

【調査概要】

＜2015 年 3 月卒業予定者＞

対　　象：2015 年 3 月卒業見込みの 20 歳～24 歳

調査方法：採用試験時、採用適性検査「アドバンテッジインサイト※」を受検（WEB 検査、または紙検査）

集計期間：2014 年 1 月～3 月

対 象 数：利用人数 8800 名のうち、企業に偏りなく男女 250 名ずつ、計 500 名

【株式会社アドバンテッジリスクマネジメント　会社概要】

設　　立：1999 年 3 月　代表取締役社長：鳥越慎二

事　業　内　容：メンタリティマネジメント事業、就業障がい者支援事業、 リスクファイナンシング事業

上場証券取引所：東京証券取引所 JASDAQ 市場（スタンダード）（証券コード 8769）

所　　在　　地：〒153-0051 東京都目黒区上目黒 2-1-1 中目黒 GT タワー17 階

【本件に関するお問い合わせ先】

株式会社 アドバンテッジ リスク マネジメント http://www.armg.jp

経営企画室　渉外･広報グループ　　長　紘子／熊澤　一晃

TEL:03-5794-3890　FAX:03-5794-3879